

太宰府の文化財

367

新指定された文化財

8月31日に行われました太宰府市文化財専門委員会の答申を受けて、10月20日付で、以下の7件が新たに太宰府市指定文化財に指定されました。太宰府市指定文化財は、これだけで合計30件となります。

有形文化財（5件）

○老松社本殿

所在地：宰府四丁目

老松社本殿は、建築様式から17世紀後半に建立されたと推測され、近世初期の特徴が良好に残る。市内で



▲老松社本殿



▲日吉神社本殿



▲宝満山の石造鳥居



◀木印
(印面「直嶋」)



▶銅印
(印面「高」)



▲光明寺のチシャノキ



▲坂本のムクノキ

は太宰府天満宮本殿と志賀社に次いで古く、学術的価値は極めて高い。

○日吉神社本殿・拝殿 附棟札

所在地：観世音寺五丁目

本殿は17世紀後半、拝殿が正徳4(1714)年の建立で、丁寧な造りで良好に残る。市内で唯一残る江戸期の拝殿を備えた本殿として貴重である。

○宝満山の石造鳥居

所在地：大字内山

この鳥居は、宝満山山中にあり、一の鳥居と呼ばれている。延宝7(1679)年に建立されており、建立年代や施主が明確な鳥居としては市内で最も古い。

○木印(印面「直嶋」)

所在地：太宰府市文化ふれあい館

この木印は、学院中学校から出土したもので、印面には「直嶋」と陽刻されている。全国的に数少ない古代の私印の中で、木印の出土は極めて少ない。

○銅印(印面「高」)

所在地：太宰府市文化ふれあい館

この銅印は、筑前国分寺跡から出土したもの。青銅製で「高」を陽刻している。印面は3・3×2・7cm

で、印面の大きさが「方1寸5分以内」という規定内であり、典型的な古代の私印と言える。

天然記念物(2件)

○光明寺のチシャノキ

所在地：宰府二丁目

光明寺のチシャノキは、樹高13.7m、幹周2・47mで、市内では太宰府天満宮のヒロハチシャノキに次いで大きい。

○坂本のムクノキ

所在地：坂本三丁目

坂本のムクノキは、樹高25・5m、幹周3・65mで、市内で2番目に大きなムクノキである。

文化財課